



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2018年3月7日]

第90回映画大使「空海-KU-KAI- 美しき王妃の謎」

- ・ 期日 平成30年2月25日(日曜日) ※公開2日目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

弘法大師としても知られる真言宗の開祖で、遣唐使として中国に渡った若き日の空海を主人公にした夢枕獏の小説「沙門空海 唐の国にて鬼と宴す」を『さらば、わが愛／霸王別姫』の名匠チェン・カイコー監督が実写化した歴史ファンタジー・ミステリー。

主人公空海を演じるのは『ヒミズ』などの多くの作品に出演し、本作が海外作品初主演となる染谷将太、空海の相棒となる稀代の詩人・白楽天には、日本でも話題となった中国ドラマ『ミューエ 王朝を照らす月』での好演が記憶に新しい、ホアン・シュアンが担当した。その他、物語の鍵を握る楊貴妃を台湾出身のチャン・ロンロンが演じるほか、日本からは、阿倍仲麻呂に阿部寛、松坂慶子、火野正平が参加しており、日本の原作、東洋の「ダ・ヴィンチ・コード」を、中国のスタッフ、そして日中を代表する豪華実力派俳優の競演で作り上げている。

1200年以上前、遣唐使として日本から唐へやってきた若き僧侶の空海が、詩人・白楽天とともに首都・長安を揺るがす巨大な謎に挑む姿を、超リアルで超巨大なセットなど何もかも空前絶後のスケールで描き出す。

日本語吹替えキャストとして、空海の相棒・白楽天に高橋一生、楊貴妃に吉田羊、さらには東出昌大、イツセイ尾形、寛一郎、六角精児など、日本映画界を代表するバラエティに富んだ実力派俳優が参加する。



(C)2017 New Classic Media, Kadokawa Corporation, Emperor Motion Pictures, Shengkai Film

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ 空海役の染谷将太さんがとっても魅力的でしたね！
- ★ 本当にスケールの大きい作品だと思いましたね！
- ★ 映像がとっても綺麗でしたね！
- ★ ラブロマンティックな要素を凄く感じました。
- ★ 世界に広める事ができる作品であると考えます！
- ★ これから何が起こるのかいろいろと想像しながら観ていました！
- ★ セットが凄かったですね！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

題材が「空海」という人物で、空前絶後のスケールと報道されているので凄く期待をして今日観ましたが、確かに空海が素晴らしかったです。空海役の染谷将太さんがとっても魅力的でしたね。その一語につきます。

Bさん

パーティーのシーンの楊貴妃などの映像がとても綺麗でした。

現実なのか、非現実なのかわからない中でドキドキしながら観ていたのですが、一番感じた事は、黒猫が普通の猫から変わった時の言葉や動作などを含め、黒猫のシーンの演出が凄いなと思いましたね。

壮絶な物語でしたが、結末を観てほっとしましたね。楊貴妃もほっとしたと思います。

Cさん

私もこの作品を観たいと思っていて、以前にチラシをいただいていったのですが、今回映画大使のお誘いがありまして観る事ができて凄く嬉しかったです。

本当にスケールの大きい作品だと思いましたね。セットが素晴らしくてびっくりしました。

空海役の染谷将太さんが頭を丸めた姿が、本当のお坊さんのようで凄くかわいかったです。

チェン・カイコー監督の事はまったく知らなかったのですが、凄くスケールの大きな作品を作る方なのだなと思いました。

Dさん

私はこの作品にラブロマンス的な要素を凄く感じました。楊貴妃は美しかったです、その美しさでいろいろな人を引き付けて、引き付けられた人が楊貴妃を本当に想って愛していたのだなと思いましたね。皇帝や付き人なども好きだったのかなと思いましたし、白楽天も自分の部屋に楊貴妃の絵がたくさんあったので、あこがれていたのかなと思いました。それぞれの方にそれぞれの愛し方があるのだなと感じましたね。

Eさん

私もこの作品は観たいなと思っていました。

空海と最澄が遣唐使の中では有名ですが、空海の事を調べましたが、空海は後の弘法大使ですよ。「弘法も筆の誤り」の弘法大使なのだなと思いました。

回想シーンや登場人物が多い事もあり、観損なった部分もあるかもしれないなと思いましたね。もう一度観たいなと思いました。もう一度観れば、さらによくわかるのではないかなと思いましたね。

スケールも大きく、コンピュータグラフィックスも駆使して昔の都を非常によく描いていたなと思いました。

私は中国の物語、三国志なども好きなのですが、この作品は日本とのかかわりが結構ありますので、そういう部分でも面白かったなと思いましたね。

私自身もその当時の中国の歴史をもう少し知っていると、よくわかるのかなとも感じました。

Fさん

この作品の事をインターネットで調べたら、やはりセットが凄いものようですね。東京ドーム8個分の広さで、5年間かけて作られたと書かれていました。また、撮影が5か月かかったと書かれていたのを見てから観たのですが、やはりスケールが大きくて、いろいろな事件が起きたりして凄かったです。

他の方も話されていましたが、最初は、猫が怖かったのですが、真相を知って最後にはかわいくなりました。

Gさん

空海といえば中国に行って日本に密教を伝えた人というイメージでとらえていましたが、伝道の話よりも妖怪の怪しさや、楊貴妃を中心にそれをとりまく空海、白楽天がなぜ解きをしていく事を描いていましたね。

観ていてなぜだろうと思う事や、この人物が歴史上、同じ時代にいないのではないのかなど、いろいろと考えましたが、とにかく撮影のスケールが大きくて凄かったですね。

私は西安に行った事がなかったのですが、行ってみたいとも思いました。

先日テレビ番組で空海の事をやっていたのですが、その番組は純粋に空海がどのような人生をたどったかという物語でした。それが意識にあってこの作品を観たのですが、この作品はその番組の内容とは少し離れていて、娯楽性がかなりあるのかなと思いましたね。

セットやコンピュータグラフィックスが凄いなと思いました。一瞬ディズニーの映画を観ているような錯覚を起こしたくらいでして、ファンタスティックを越えてまるで夢の世界でしたね。

エンドロールの歌が英語の歌でしたので、この作品は世界的に流行らせようとしているのかなと感じました。もう既に中国では公開されていて、観客動員数が凄いと聞いています。世界に広める事ができる作品であると考えましたね。この作品は、娯楽としてもいいですし、中国の昔の世界を見る事もできますので、何かの賞をとる事ができる作品なのではないかなと思いました。

Hさん

最初の方の猫がでてくるシーンを観まして、これから何が始まるのだろうかワクワク感があり、これから何が起こるのかいろいろと想像しながら観ていました。

猫の吹替えをした方の声が凄く良くて、その声に惚れましたね。私はあのような声が凄く好きなんです。

最初から映像がとても綺麗で、本をめくるような感じで、景色が変わったり映像が変わったりしたのが、いいなと思いつつ観ていましたね。

膨大な映像と女性の衣装が綺麗でしたね。大きなセットを使つての撮影は大変だったろうなと思いました。

今日、観る事ができて良かったです。

Iさん

私もこの作品を観たいと思っていました。

この作品は、コンピュータグラフィックスを多く使っているにもかかわらず、とても自然で、あまりコンピュータグラフィックスを使っているようにみえないですね。自然に物語が流れていくので凄いなと思いました。

原作の夢枕獏さんは、妖怪の話をよく書かれるので、そのような話が好きな方は、この作品は凄くいいと思いますね。

作品として、面白いと思います。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

・空海役の染谷将太さんの微笑みを浮かべて穏やかな目が凄く良いなと思いましたね。

・阿部寛さんはいろいろな作品で違った役をされていて凄いですね。

・このような作品を作るという事は、中国にとっても空海は大切な人だと考えているからだだと思いますね。最澄よりも空海が取り上げられる事が多いですからね。

・空海は中国に行く前から中国語ができたようですね。

・空海は私費の留学僧として遣唐使船に乗って唐に渡ったそうですね。

まとめ

この作品は、公開よりもかなり前から予告編が映画館で映画上映前に放映されていたり、チラシが映画館に置いていたりするなど、周知に力を入られていました。そのためか当日参加された映画大使の方の中にも前々からこの作品を観たかったと言われる方が多かったです。公開前の予告編でも映像の綺麗さなどは目を引くものがありましたが、公開が近くなりセットのスケールの大きさなども空前絶後である事がわかってきました。

原作が、夢枕獏の小説で東洋の「ダ・ヴィンチ・コード」と言われているように謎を多く持つ作品で、その謎が最後には綺麗に解けるようになっています。途中の謎を深く考えるからこそ、観終わった後、謎が解け爽快感を強く感じのだと感じました。

前半のちょっとしたシーンに、後半の謎を解くカギが隠されていたり、前半から後半に繋がるシーンもあったりと、セットや映像・キャストの凄さも際立っていますが、それだけでなく演出も見事だと思います。2度・3度観る事により、1度観て気が付かない事がわかってくる事も多くあるような作りにもなっていると感じました。

映画大使の方の中には、中国の歴史や空海に詳しい方もいらっしゃる現実の歴史とは、違っているところもありますが、エンターテインメント作品としても見ごたえのある作品となっています。

東京ドーム8個分の広大なセットや、煌びやかな美術などからも大きな画面で観る事をお勧めいたします。

劇場の大スクリーンでは是非、ご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.